

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 やさしさがあふれる鶴ヶ島市を（40分）</p> <p>経済的に、また肉体的、精神的に追い込まれている子どもから高齢者までの市民が多く見受けられます。こうした市民にどう手を差し伸べるかが自治体などの大きな課題になっています。過日、NPO法人ライフリンクの清水康之さんの「誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地の良い鶴ヶ島”をめざして」と題する講演会が開かれました。多くの関係職員や教師、福祉関係者などが参加されていたようです。時節柄、非常に良いところみであったと思います。市の窓口対応や電話対応について、市に採用されている職員等は基本的に市民にやさしさのある対応がなされていると思いますが、指定管理者やアウトソーシングの関係者はどうか、懸念もあります。</p> <p>若い世代は、経済的困難さを抱えている方が多く、その投影としての虐待も多い状況です。また、いじめ、特に児童・生徒の自殺事件は、当市は異常です。こうした世代（保護者）に対する社会教育的課題をどうするか考えなければなりません。同時に子どもたちの生活実態がどのようなものになっているか正確に把握しなければなりません。他方、やさしさを貫く市の諸施策には様々な問題があると思います。その内のいくつかのみを取り上げます。</p> <p>（1）市の自殺者の近年の推移は。</p> <p>（2）8月8日の「誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地の良い鶴ヶ島”をめざして」と題する講演会の参加者の分析は。</p> <p>（3）前市長時代では社会教育敵視策がありましたが、若い世代への社会教育的課題にどう向き合うか。</p> <p>（4）子どもたちの生活実態を把握していますか。</p> <p>（5）学校給食費無償化を実現すべきですが。多くの自治体で実施してきています。財源論議を含めて論議を行います。</p> <p>（6）国民健康保険税の引下げを。特に国保単一化され、一般財源繰入ゼロ方針が出されています。再検討すべきです。</p>	<p>市長、教育委員会 教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 農大跡地と周辺地開発問題について（20分）</p> <p>（1）優先交渉事業者のIHIは、9月か10月に農大跡地事業用地（13.6Ha）を購入することになります。購入後、IHIは具体的にどんな事業をしようとしているのか。鶴ヶ島市の雇用が増えるのか。</p> <p>（2）農大跡地と運動公園の間の土地（12.4Ha）は、県が実証フィールドにするとのことですが、具体的には何をするのか。この実証フィールドにする土地は、当初の計画になかった土地ではありませんか。環境問題をどう考えていますか。</p> <p>（3）今年度、国家戦略特区活用検討調査・提案企画業務の委託先の公募をしようとしているが、いつ決まるか。13市町への内容は。</p>	市長